

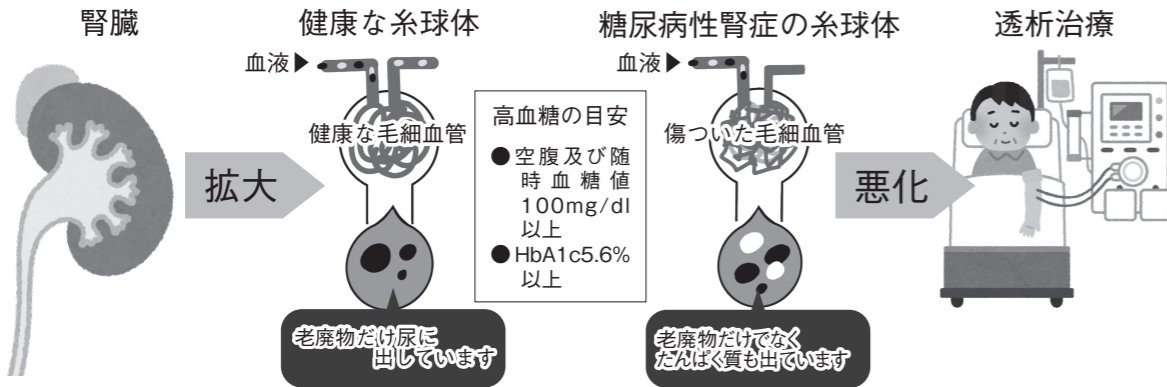
## 糖尿病性腎症をご存知でしょうか？

腎臓は、身体の左右に1個ずつある臓器です。約100万個ある糸球体と呼ばれる毛細血管のかたまりで血液をろ過することで、身体の中の老廃物や毒素を尿として外に出す働きをしています。

高血糖状態が続くと、血液中のブドウ糖によって血管が傷ついてしまうことで、糸球体も傷つき腎臓の働きが悪くなってしまいます。そうすると、ろ過機能が低下してしまうため、老廃物などが身体にたまり、たんぱく質など必要なものが排出されてしまいます。

腎機能低下が進行すると老廃物や毒素が身体に溜まってしまう尿毒症の状態となり死に至ることもあります。そのため、機能しなくなった腎臓の代わりに体内にたまった毒素を出す透析治療(人工透析)を、週2～3回、1回4～5時間寝た状態で受ける必要があります。

糖尿病治療や生活習慣の改善などで高血糖状態が続かないようにすることが重要です。



腎臓(糸球体)は、一度傷つくと元に戻らない臓器ですので、傷つかないようにすることが大切です。巡回ドックで身体の数値を知って、腎臓を守っていきましょう。

### 冬の巡回ドック受付中!

日 時 令和5年1月17日(火)・18日(水)・19日(木)・20日(金)

①7:00 ②7:30 ③8:00 ④8:30 ⑤9:00 ⑥9:30 ⑦10:00 ⑧10:30

受診方法 令和5年1月6日(金)までに 役場福祉課健康係 ☎015-574-2214 へ申込ください。

健診で血糖値など血液検査の数値を調べることが、腎臓を守る第1歩です!

### 検査内容・料金等

	健診内容	対象者	料金	会場
予 生活 防 習慣 健 診 ※ 病	国保特定健診	40歳以上の国保加入者	0円	生活保護世帯は無料 豊頃町保健センター
	後期高齢者健診	後期高齢者医療加入者		
	一般基本健診	・20～39歳 ・40～74歳の被用者保険被扶養者	500円	
がん検診	胃がん検診	40歳以上	700円	
	肺がん・結核検診		200円	
	大腸がん検診		800円	
その他検診	前立腺がん検診	50歳以上の男性	800円	
	骨粗しょう症検診	20歳以上	200円	
	エキノコックス症検診	20歳以上 ※20歳以下で希望される方は要相談		
	ピロリ菌検査	20歳以上で 今まで受けたことのない方	700円	
	肝炎ウイルス検診	40歳以上	400円	
	風しん抗体検査	S37.4.2～S54.4.1 生まれの男性	0円	

※検査内容：身体測定、血圧測定、血液検査、尿検査、心電図、眼底検査、フレイル健診(後期健診)のみ

## 巡回ドックで身体の数値を知りましょう 糖尿病性腎症を知るには血液検査から

〔前号の続き〕  
「私たちは、多くの人々と繋がっている」  
土をあるいは根っこを歴史を、様々な人々との目に見える繋がりを、目に見えない繋がりを、しっかりと感じていくこと。それができるときに、花を咲かせることができるのではないかと思うのです。  
そして、「なぜ私たちが様々なものが、朽ち果ててしまうのか。衰退していくのか。元気をなくしていくのか。困って身動きが取れなくなるのか。あらゆる衰退、それは道を失うことから始まる。この道と切れてしまうことから私たちが、疲れ果てていくのではないか」そんなふうに金次郎は言うのです。

農業者なら農業者魂、武士なら武士魂、私たちがはたして何をしたいのか。あるいはどんな人々と繋がってこころまで来たのか。そういうことをもう一度考えてみるのも一つかなあと思ったりします。

金次郎のような特殊な人々の繋がりが、大久保忠真公との出会いとか、あるいは酒匂川との出会い。私は平々凡々と、あるいは困難な時だって自分の努力で乗り越えてこころまで来ました。(金次郎のような繋がりとはいちがいに違います) 助けてくれる人はそんなにいなかった。一生懸命向き合ってくれる人はそんなにいなかったと感じる方も、もしかしたらいるかもしれないのです。それでも大丈夫だと金次郎

は考えていました。そのことを表すために作り出したものがこれだったと言えるのではないかと思っています。  
それは「報徳訓」と呼ばれるものでもあります。「報徳訓」というのはご存じの方も多いいと思いますが、こんなふうにしていきます。  
父母の根元は天地の命令に在り、云云かんぬん、と続いていきます。一体これはどういうことか。まさにこれは「はじまりを知ろうじゃないか」というふうにつまえていいのではないかと思うのです。一番最初に父母となつていますが、金次郎は言います。「私たちがここに居るといことは割と普通のことだ。しかし、もう一回ははじまりに戻ると、なぜ私たちがここに居るのかと考える。まず、お父さんお母さんの存在があったから、それです。私たちが生まれてくる。まずお父さんがなされたのかという、そのまたお父さんお母さん、とずつと考えるにつけ、そもそもなぜ人間が生きているのか。それは、天・地・自然が生み出してくれているものではないか。つまり人間だけでは、私たちが繋ぐことができない。やはり自然界と天・地、そういう自然と繋がることによって、私たちが存在しているの

ではないか」と金次郎自身は言うのです。当たり前のようにありますが、やはり、天・地・自然というものの繋がりが、私たちの体の中に入っているのではないかと。そして、体があるということ。それは当たり前のことではなくて、母親が何時間おきに起きて、何度も何度もオシメを変えて、そういう手間暇をかけた両親がいた。育てる人がいた。ということではないだろうか。  
これはよく紹介するお話ですが、教育の世界には、有名なローマ皇帝フリードリヒ大王の実験という話があります。フリードリヒ大王という昔の王様が実験をしたのです。人間の子どもたちに言葉を教えたかどうかというのをどうしようか。どんなコミュニケーションを図るのだろうか。という素朴な疑問から始まりました。各地の肌違言語の違う奴隷の子どもたちが集められました。乳児の言葉を集められたのです。そして「絶対に言葉で教えたらだめだよ」と言われだめだ。ウーウという声も聞かせたらだめだというのです。微笑みかけてもいいけ

いと、体の栄養はちゃんと与えるけど、絶対に言語は禁止だ、という「御触れ」でした。さあそこで育った子どもたちは一体どう育ったのか。  
結果は残酷でした。成人を迎えることができた子どもはいなかった。ほとんどの子どもは早くに亡くなる。そんな実験結果になったのです。  
人類史上まれにみる残酷な実験だったと言われますが、そこから教育者たちは大事なことを学んでいます。「私たちができる生き物ではないということ。必ず誰かに抱きしめてもらい、誰かから言葉をかけてもらい、目をかけてもらい、笑顔をかけてもらい、そして撫でてもらったり抱っこしてもらったり、そういうスキップをしてもらいながら初めて生きることが出来る。」  
今ここにいる私たちは、みんな必ずそういうたくさんのものを受けて生きていく。私たちの体や命がここにありということ。そのルーツには、様々な人々から育ててもらった日々が宿っているのではないだろうか。(続く)

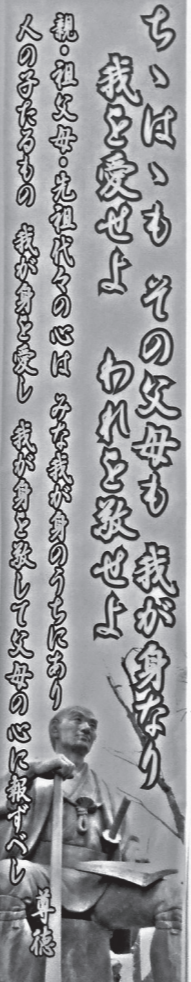
## 「報徳のおしえ」とともに 令和3年度「報徳のおしえ」講演会

### 講演テーマ「報徳」からはじまる豊かな未来創造(その8)



問合せ先

教育委員会社会教育係 ☎579・5801



私は、父も母も、その父母も我が身なり  
我を愛せよ、われを愛せよ  
親、祖父母、先祖代々の心は、身を我が身のうちにあり  
人の心なるもの、我が身を愛し、我が身を愛して父母の心に報せよ

問合せ先

役場福祉課健康係 ☎574・2214